

第9回 金沢自転車ネットワーク協議会 議 事 概 要

日時：平成26年2月3日（月）10：00～11：30
場所：金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

- (1) 「金沢中心市街地の自転車通行空間整備ネットワーク（案）」に関するパブリックコメントの結果と対応（案）について（資料1）
- (2) 自転車走行経路分散社会実験結果について（資料2）
- (3) 安全な自転車の通行方法を周知するための広報について
 - ・第8回協議会の意見と対応（案）について（資料3）
 - ・（仮）金沢まちなか自転車利用マップの構成（案）について（資料4）
- (4) その他
 - ・金沢中心市街地以外の自転車ネットワーク検討調査結果（速報）について（資料5）

4. 閉 会

議 事 要 旨

【「金沢中心市街地の自転車通行空間整備ネットワーク（案）」に関するパブリックコメントの結果と対応（案）について】

- ◎パブリックコメントの対応（案）、及び整備ネットワーク（案）について了承を得た。また、これらを公表することについても了承を得た。
- ◎香林坊地区の駐輪場について、来年度に金沢市が対策を検討する。

【自転車走行経路分散社会実験結果について】

- ◎自転車走行経路分散社会実験結果について了承を得た。

【安全な自転車の通行方法を周知するための広報について】

＜第8回協議会の意見と対応（案）について＞

- ◎第8回協議会の意見と対応（案）について了承を得た。

＜（仮）金沢まちなか自転車利用マップの構成（案）について＞

- ◎情報面の「自転車の右折方法」について下記3点を修正すること。

⇒①、②の走行経路を現す矢印を、交差点を横断するまで直進するような線形に修正すること。

⇒金沢市内では、横断陸橋がある交差点や片側右折2車線の交差点が少ないため、金沢の実情

にあった記載内容とすること。

⇒①～③の図に統一性を持たせること。(③のみ色使いや記載方法が異なっている。違反項目については図の矢印に×印を付ける)

◎修正の確認は、高山会長に一任し、3月を目処にデザインを決定し印刷する。

【その他：金沢中心市街地以外の自転車ネットワーク検討調査結果（速報）について】

◎事故データについては、路線ごとの事故数を年度ごとに調査するなど、対策箇所の効果が把握できるような分析を行うこと。

◎経路調査のサンプル数の不足分は来年度に引き続き調査を行うこと。スマートフォンを利用した調査については、回収率向上に向けた工夫を考慮すること。

委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	金沢大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 教授 三国 千秋	欠席
	地球の友・金沢 三国 成子	出席
警察	石川県警察本部 交通企画課長 種本 英喜	代理出席 (源課長補佐)
	石川県警察本部 交通規制課長 林 邦彦	出席
	金沢中警察署 交通官 久島 泰志	出席
	金沢東警察署 地域交通官 蔵谷 町村	出席
	金沢西警察署 地域交通官 新澤 克之	代理出席 (香林交通第一課長)
行政関係	国土交通省金沢河川国道事務所 交通対策課長 北出 一雅	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 東 靖博	代理出席 (飯田担当課長)
	石川県 土木部 都市計画課長 宮田 正弘	代理出席 (竹内課長補佐)
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 梶 清一	代理出席 (野口主幹兼係長)
	金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課長 水口 哲哉	出席
	金沢市 土木局 道路管理課長 中川 富喜	出席

出席者：13名、欠席者：1名

■開会

●国土交通省金沢河川国道事務所 調査第二課 大下課長

ただいまより、第9回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。私は、事務局を担当しております、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課長の天下でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

■会長挨拶

○金沢大学 教授 高山会長

今年は史上2番目くらいに1月の積雪量が少なく、このように雪が少ないと、冬でも自転車利用者が増えてくるのではないかと思います。金沢大学でも、気温が調度良いのか、自転車で通学する学生を多く見かけます。そのような意味でも、自転車通行空間の整備というのは必要であり、安全に走れるようになればなるほど、自転車の利用者が増えると思います。昨年度、金沢版ガイドライン(案)を策定し、今年度は整備ネットワーク(案)についてパブリックコメントを行い、本日は頂いたご意見に対する回答案について協議いたします。私は、急ぐ必要はないと思いますが、しっかりと議論して、皆様が納得いくように、また、交通量も時代とともに変化していくので、そういったものにも対応出来るような整備ネットワークを作ることができれば良いと思います。本日は、よろしくお願いいたします。

■「金沢中心市街地の自転車通行空間整備ネットワーク（案）」に関する パブリックコメントの結果と対応（案）について

○地球の友・金沢 三国成子委員

資料1のP9「分類Ⅳ：駐輪場に関する意見」について、香林坊西側に駐輪場が必要との意見が出る要因としては、堅町通りの東京ストアーがなくなり、香林坊109に買い物に来る人が増えたためではないでしょうか。例えば、スーパーマーケットの営業時間等の短時間だけでも駐輪できるような工夫を行うことはできないでしょうか。

○金沢市歩ける県境推進課長 水口委員

香林坊109裏の駐輪スペースとなっている箇所は、用水上であるため本来駐輪スペースとして適正ではありません。香林坊109には、2階に駐輪スペースがあり、中央は空いています。また、周辺の香林坊アトリオの地下駐輪場や、柿木畠駐輪場の2階もスペースが空いており、地区の駐輪場の収容可能台数には余力がある状況となっています。自転車利用車の特性として、最寄りの駐輪場に停めたいという思いが、結果的に香林坊109の駐輪スペースが飽和状態になっている。来年度に向けて、駐輪環境について検討しているところです。また、ラブロ裏の駐輪場も再開発工事で閉鎖され、再開発後も駐輪場を整備されるとのことだが、駐輪台数までは現在は不明です。香林坊109からラブロ裏にかけての不法放置自転車も含めて、来年度に警察とも協議し、対策を講じなければならないと思います。

○地球の友・金沢 三国成子委員

香林坊109付近の買物客は高齢者が多く、重たい荷物を抱えて離れた駐輪場まで行くとい

うことは大変だと思います。可能であればマルエーと相談して、スーパー利用者だけが利用できるような近場の駐輪場を検討していただきたいと思います。

○金沢大学 教授 高山会長

ラブロの再開発後の駐輪台数については、床面積に応じた規定の台数の駐輪場が出来るはずなので、市から基準以上の台数を確保してもらえるよう要望してはいかがでしょうか。

■自転車走行経路分散社会実験結果について

○金沢大学 教授 高山会長

P10 のアンケート結果では、利用者の 5～6 割の方が「幹線道路を避けて市道を走行した」と回答しているが、交通量調査では変化がなかったとのことだが、何か理由があるのでしょうか。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

可能性の話ですが、実験前から幹線道路を避けていたのではないかと思います。元々市道を通行していた利用者が「避けています」と回答しているため、交通量調査では、事前、事後に変化がなかったのではないかと思います。

■安全な自転車の通行方法を周知するための広報について

○金沢西警察署交通第一課長 香林委員

広報は紙媒体だけ配布するのでしょうか。アプリ等は考えていますでしょうか。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

アプリについては検討していません。紙媒体と自転車ネットワーク協議会の WEB ページ上で公表することを考えています。

○地球の友・金沢 三国成子委員

石引 2 丁目は、北陸学院高校や金沢医療センターがあり、さらに出会い頭事故が多い状況となっています。パブリックコメントの意見にもありました石引 2 丁目の路地は、実際に高校生の利用も多く、経路の選択肢も増えるので、整備ネットワーク（案）には記載していませんが、利用マップに追記してはいかがでしょうか。また、利用マップ情報面の「自転車の右折方法」の①②の図が、横断帯を走行するような曲線を描いており、このような動作を行うと、左折車との接触事故が危惧されるため、交差点を横断したぐらいで方向転換のための曲線を描くような図に修正したほうが良いと思います。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

意見を踏まえて修正いたします。

○金沢大学 教授 高山会長

色合いはこのままなのでしょうか。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

色合いも含めて、レイアウトやデザインについては、今後詰めていきます。今回は、記載する項目について審議いただきたいと思います。

○金沢大学 教授 高山会長

交通量の多い、少ないという基準はガイドラインに則しているのでしょうか。その解説を記載した方

がよいのではないのでしょうか。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

金沢版ガイドラインに即して記載しています。ご指摘の通り、交通量の台数についての解説を追記いたします。

○金沢中警察署交通官 久島委員

利用マップ情報面の「自転車の右折方法」の②の横断歩道がない交差点について、横断陸橋が記載されていますが、金沢市内ではこのような交差点は少ないと思われるので、金沢市オリジナルの利用マップを作成するということであれば、横断陸橋は削除したほうがよいのではないのでしょうか。また、③の片側右折2車の記載も必要ないと思います。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

ご指摘の通り、金沢の実情にあったものに修正いたします。

○金沢大学 教授 高山会長

整備状況も変化していくため、利用マップは更新していくことでよろしいのでしょうか。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

更新する内容の程度を見て、適宜、増刷や改定いたします。3月くらいにデザイン等を決定し、印刷やHPに公開する予定としています。

■その他：金沢中心市街地以外の自転車ネットワーク検討調査結果（速報）について

○金沢中警察署交通官 久島委員

P10の交通事故データは石川県内のもののでしょうか。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

石川県内のデータです。

○地球の友・金沢 三国成子委員

P9で石川県全体の自転車関連事故件数の推移を表していますが、金沢市内、各所轄の管轄範囲など、もう少しミクロな範囲で分析を行うことで、これまでの対策箇所の効果などが把握できると思います。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

P11は、過去5年間分の事故が発生した箇所をプロットしたものとなっています。これを年ごとにプロットすることで、ご指摘の対策効果なども把握できるかもしれないので、分析し取りまとめていきたいと思います。

○金沢大学 教授 高山会長

自転車については啓発活動も含めて、平成20年前後から取り組んでいるので、その成果や効果が目で見える形で現れれば、協議会としてもうれしく感じます。石川県で見ますと、全国より事故減少率が大きいので、さらに金沢市内で効果が大きいと良いと思います。事故データは、警察署ごとに整理されているのでしょうか。今回は地図に落とすということで、色が付いたエリアで示していますが、具体的な場所はわかるのでしょうか。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

データについては、警察本部にお願いし各所轄で管理されている情報についても取得できるものについては反映しています。個人情報の兼ね合いもあるため、事故箇所を具体的に示

すことはできませんが、路線の区間で示す範囲であれば内諾をいただいています。

○金沢大学 教授 高山会長

経路調査のサンプル数が目標の半分しか集まらなかった理由は为什么呢。

●事務局（国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 荒川専門官）

自転車利用が少ない時期であることに加え、天候が良くなかったため、自転車走行自体が少なかったことが否めないと考えています。来年度に継続した調査を行い、不足するサンプル数を確保し、中心市街地以外のネットワークを作成したいと考えています。

○金沢大学 教授 高山会長

サンプル数の不足分は、来年度に引き続き調査して補っていただきたいと思います。特に、スマートフォンを利用した調査については、回収率向上に向けた工夫が必要だと思います。

本日議論していただきました、金沢中心市街地の自転車通行空間整備ネットワーク(案)について、ご説明いただいた内容で公表していくということでご承認いただきました。また、金沢まちなか自転車利用マップについては、概ねご説明いただいた内容でご承認いただきましたが、修正部分については私の方で確認させていただいて印刷、公表していきたいと思います。

■閉会

●国土交通省金沢河川国道事務所 調査第二課 大下課長

高山会長、委員の皆様、活発なご議論をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして、第9回金沢自転車ネットワーク協議会を終了致します。ありがとうございました。

以上